

最近の機械貿易動向(4月)～機械輸出は震災、円高等の影響で大幅な落込み～

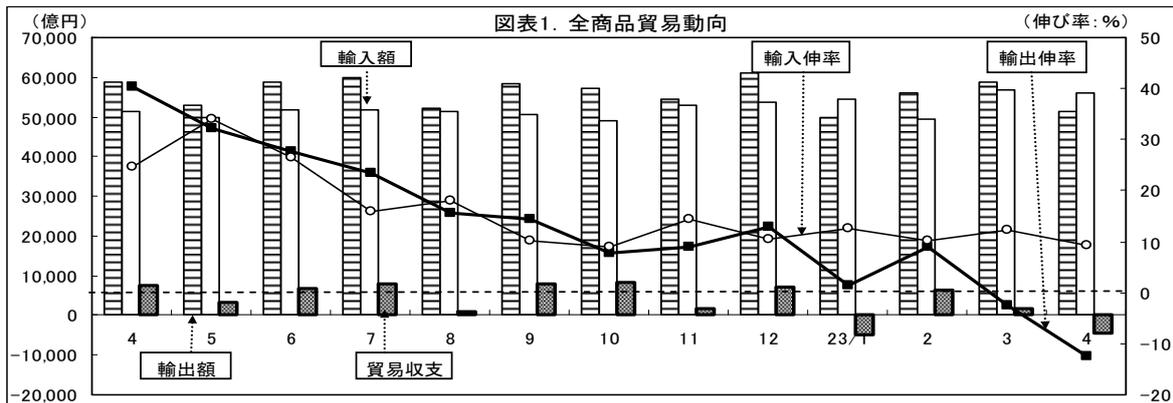
日本機械輸出組合 2011. 6. 14.

平成23年4月の機械輸出額は、3兆1,310億円、対前年同月比18.3%減と震災と円高等の影響でマイナス幅を大きく拡大させた。これは、①全地域向けでマイナスとなったこと。特に北米、その他地域向けが大幅減となったこと、②機械輸出の1/3を占めていた自動車が約50%と激減したこと、③月間最高値の円高と営業日が1日少なかったこと(10.8%の減少要因)などが要因である。

5月の対ドルレートは月間最高値となったが、営業日が1日多いことから1%の僅かな減少要因となる。このため、実質伸び率を4月の7.5%減と仮定すると、5月の機械輸出の伸び率は8.5%減と予想される。因みに5月上中旬の全商品輸出額は9.3%減となっている。

1. 全商品貿易動向～輸出は震災、円高等の影響で大幅マイナス、貿易収支は赤字へ～

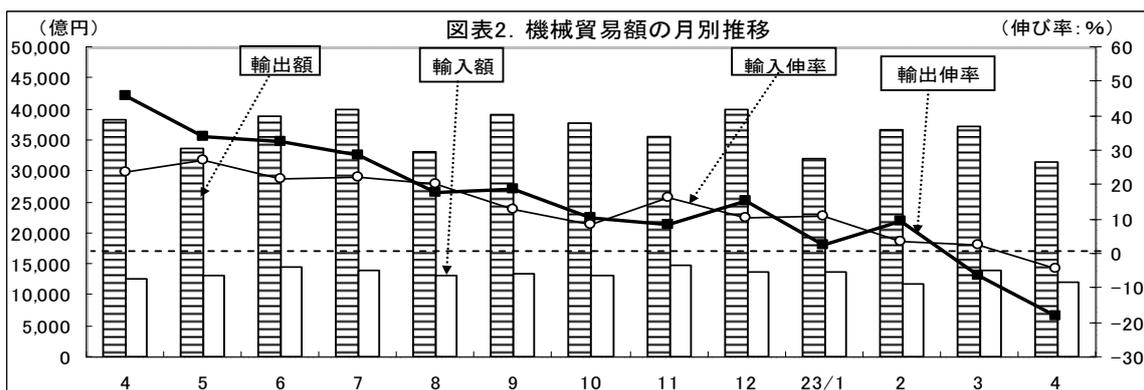
- 平成23年4月の全商品輸出額は5兆1,566億円、前年同月比(以下同じ)12.4%減とマイナス幅を拡大した(3月2.4%減)。これは、全輸出額の23%を占める一般機械(1.5%増)、15%の鉄鋼等素材製品(1.6%増)がプラスになったものの、15%の輸送用機器(43.2%減)、19%の電気機械(12.6%減)等が大幅に減少したためである。
- 輸入額は5兆6,215億円、9.2%増となった(3月12.3%増)。これは、全輸入額の9%を占める化学製品(21.2%増)、32%の鉱物性燃料(15.1%増)、10%の原料別製品(14.5%増)、7%の原料品(14.3%増)が二桁の伸びとなったためである。なお、10%の電気機器(9.1%減)は大幅な減少となった。
- この結果、4月の貿易収支は、輸出の大幅減、輸入の増加で、3ヶ月ぶりに貿易赤字(4,648億円)となった。



2. 機械貿易動向

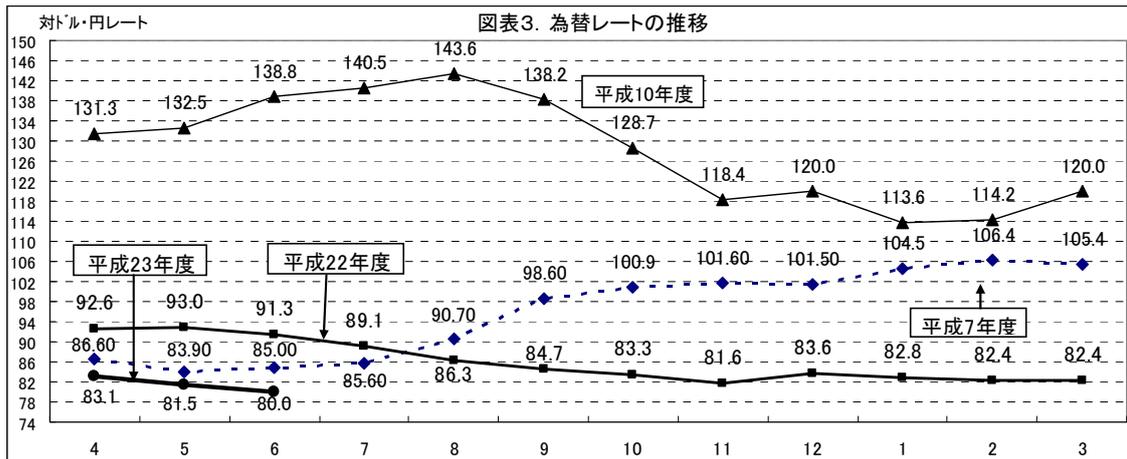
(1) 機械輸出入動向～機械輸出はさらにマイナス幅拡大、輸入もマイナスへ～

- 全商品輸出額の61%を占める4月の機械輸出額は3兆1,310億円、18.3%減と前月よりさらにマイナス幅を拡大させた(3月6.3%減)。この輸出額は、リーマンショック以前の08年4月の輸出額と比較すると67%と前月よりもさらに低下した(3月71%)。一方、全商品輸入額の22%を占める機械輸入額は、1兆2,129億円、4.3%減と16ヶ月ぶりにマイナスに転じた(3月2.3%増)。この輸入額はリーマンショック以前の79.8%で、前月と同水準であった。



(2) 為替動向・営業日～4月は円高・営業日で大幅な減少、5月は僅かな減少要因～

- ・4月は1ドル＝83.1円と前年比10.3%の大幅な円高が続き、対ユーロ＝117.4円では円高が緩んだが6.0%の円高が続き、合わせて5.8%減の為替減少要因となった。さらに、営業日は前年より1日少ないので4.8%の減少要因となり、円建輸出額では10.6%の大幅な減少要因となる。このため、4月の機械輸出は18.3%減であったが、実質伸び率は7.7%減と前月よりさらに落ち込んだ(3月1.2%減)。
- ・5月は1ドル＝81.5円と月間最高値となり前年比12.4%の大幅な円高が続き、対ユーロ＝117.8円では円高が緩み2.9%の円高となり、合わせて6.5%減の為替減少要因となる。一方、営業日は前年より1日多いので5.5%の増加要因となり、円建輸出額では1%の僅かな減少要因となる。
- ・6月は、対ドルが現状の80円とすれば12.4%の大幅な円高が続くが、対ユーロが現状の116円とすれば3.7%の円安となり、合わせると5.8%減の為替減少要因となる。営業日は同じである。



(3) 地域別動向～全地域でマイナス、中国は17ヶ月ぶりのマイナス～

・機械輸出がマイナスとなった地域的要因は、①16%を占める北米向けで、業種では全体の31%を占める自動車(55.1%減)が大幅減となった他、電子計算機、民生用電子機械等がマイナスとなり、30.3%減の大幅減となった。次に②18%を占めるその他地域向けで、大洋州、中近東、アフリカ、ロシア東欧向けが軒並み2ケタ台の大きなマイナスとなり、機種では、全体の32%を占める自動車(52%減)や船舶等がマイナスとなったため、27.1%減となった。③12.8%を占めるEU向けは、全体の23%を占める自動車(47.9%減)や電子計算機(28.2%減)、電子デバイス(10%減)等が大きく低下し、17%減となった。④機械輸出額の31%と最大輸出地域のNIES/ASEAN向けは、フィリピン、台湾、インドネシア、シンガポール、香港、マレーシア、韓国向けが軒並み、業種では自動車(40.7%減)、半導体製造装置、民生用電子機械が大幅に減少し、4ヶ月連続のマイナス成長となった。⑤21%を占める中国向けは、全体の14%を占める電子デバイス(17%減)、10%の自動車(38.5%減)、民生用電子機械、軽電気機械、建設機械、光学機械等がマイナスとなり4.2%減と17ヶ月ぶりにマイナスとなった。

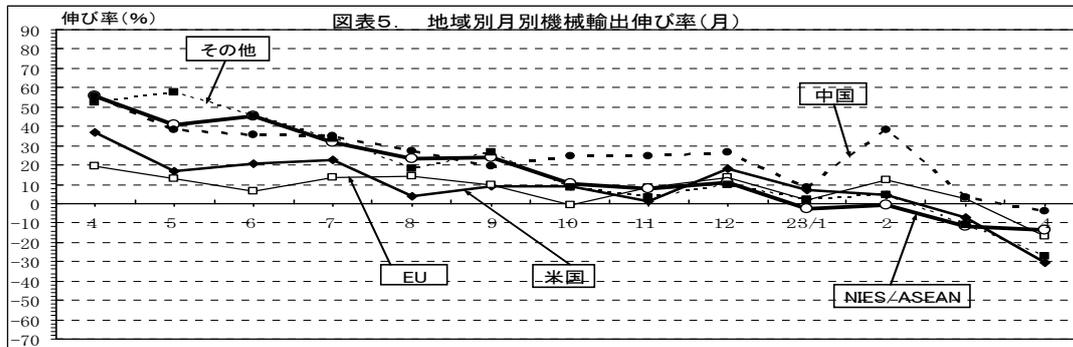
地域別に、リーマンショック以前の08年4月の輸出額と比較すると、中国向けが水準を超え、NIES/ASEAN向けが80%、その他地域向け、北米、EUは50%台の水準である。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位:億円)

	2011/2			2011/3			2011/4			対08年 4月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	36,482	9.3	100	37,295	▲ 6.3	119	31,310	▲ 18.3	100	0.67
北米	7,347	4.8	20.1	6,725	▲ 6.9	21.5	5,120	▲ 30.3	16.4	0.52
EU	4,781	12.3	13.1	4,905	2.6	15.7	4,007	▲ 17.0	12.8	0.51
NIES/ASEAN	9,534	▲ 0.8	26.1	10,308	▲ 11.9	32.9	9,772	▲ 13.7	31.2	0.80
中国	7,380	38.0	20.2	7,479	3.4	23.9	6,660	▲ 4.2	21.3	1.04
その他	7,440	4.2	20.4	7,877	▲ 11.2	25.2	5,751	▲ 27.1	18.4	0.54

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2011/1		2011/2		2011/3		2011/4	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,618	7.3	1,705	▲ 10.7	1,949	▲ 13.7	1,849	▲ 13.1
台湾	1,631	2.9	1,813	1.1	1,942	▲ 13.1	1,792	▲ 18.1
香港	1,287	▲ 15.6	1,458	3.8	1,759	▲ 10.2	1,569	▲ 15.6
タイ	1,356	6.0	1,548	11.5	1,571	8.9	1,533	2.2
シンガポール	899	▲ 21.0	823	▲ 18.9	924	▲ 27.9	934	▲ 16.8
インドネシア	538	0.1	683	▲ 1.1	635	▲ 25.1	648	▲ 17.3
マレーシア	670	7.5	783	11.3	786	▲ 3.2	712	▲ 15.4
フィリピン	441	▲ 1.3	420	▲ 10.1	423	▲ 17.4	415	▲ 26.5
ベトナム	202	▲ 18.7	260	5.7	281	▲ 9.7	284	▲ 3.2
その他地域								
中南米	2,514	▲ 7.2	2,051	▲ 22.5	2,799	▲ 13.4	2,349	▲ 8.3
中近東	1,100	▲ 14.8	1,461	▲ 0.9	1,342	▲ 33.1	647	▲ 52.8
大洋州	1,086	3.6	1,143	▲ 1.9	944	▲ 15.5	649	▲ 57.5
ロシア東欧等	1,089	69.9	1,358	80.0	1,152	▲ 14.6	858	▲ 12.7
アフリカ	767	0.9	797	14.7	832	▲ 15.0	640	▲ 27.3
インド	298	▲ 18.2	436	28.6	639	59.1	448	11.9

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～19業種中13業種がマイナス、自動車の下落が大きく影響～

- 業種別では、全19業種中マイナスとなったのが13業種で、前月より3業種増加した。全体の20%を占め輸出を下支えする自動車は前月からマイナス幅をさらに拡大させ47.9%減と、機械輸出のマイナスに大きく影響を与えた。その他、電子計算機、通信機械、民生用電子機械、農業機械、電子デバイスも大幅に減少した。
- 一方、工作機械(54.5%増、13ヶ月連続)、繊維機械(44.6%増、18ヶ月連続)、ベアリング(16.7%増、15ヶ月連続)は二桁の高い伸びを維持している。
- リーマンショック以前の水準を超えているのは船舶、光学機械、ベアリング、医療機械の4業種で、繊維機械、工作機械、産業機械、重電機械は90%台であるが、自動車は38%と最も低く、電子計算機、産業車両、民生用電子機械、通信機械、農業機械は40～50%台に低下した。

図表7 上位19業種の輸出額の動き (単位: 億円, %)

機種名	2011/2			2011/3			2011/4			対08/4比		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	12,145	9.0	33.3	自動車	9,784	▲ 20.2	26.2	自動車	6,296	▲ 47.9	20.1	0.38
産業機械	6,683	18.6	18.3	産業機械	7,390	6.9	19.8	産業機械	7,006	2.8	22.4	0.95
電子デバイス	2,891	▲ 5.6	7.9	電子デバイス	3,346	▲ 6.9	9.0	電子デバイス	2,941	▲ 19.2	9.4	0.77
船舶	1,561	▲ 26.5	4.3	船舶	2,627	▲ 9.2	7.0	船舶	2,100	▲ 7.4	6.7	1.17
軽電気機械	1,929	4.4	5.3	軽電気機械	2,057	▲ 4.2	5.5	軽電気機械	2,006	▲ 4.9	6.4	0.79
民生用電子機械	1,640	0.5	4.5	民生用電子機械	1,756	▲ 15.2	4.7	民生用電子機械	1,580	▲ 27.4	5.0	0.49
重電気機械	1,781	16.1	4.9	重電気機械	1,893	▲ 3.6	5.1	重電気機械	1,845	▲ 3.3	5.9	0.91
軽機械	1,276	19.7	3.5	軽機械	1,299	9.2	3.5	軽機械	1,242	0.7	4.0	0.71
光学機械	1,133	13.4	3.1	光学機械	1,265	4.3	3.4	光学機械	1,236	▲ 3.4	3.9	1.01
建設機械	1,256	52.2	3.4	建設機械	1,203	6.7	3.2	建設機械	929	▲ 5.2	3.0	0.62
工作機械	764	90.9	2.1	工作機械	928	48.4	2.5	工作機械	741	54.5	2.4	0.96
通信機械	469	▲ 4.0	1.3	通信機械	461	▲ 17.4	1.2	通信機械	448	▲ 19.7	1.4	0.52
電子計算機	424	▲ 19.4	1.2	電子計算機	489	▲ 27.2	1.3	電子計算機	394	▲ 35.7	1.3	0.40
ベアリング	384	24.2	1.1	ベアリング	424	18.8	1.1	ベアリング	418	16.7	1.3	1.17
陸用内燃機関	431	51.1	1.2	陸用内燃機関	434	20.5	1.2	陸用内燃機関	310	▲ 9.0	1.0	0.71
医療機械	307	▲ 0.8	0.8	医療機械	361	▲ 2.0	1.0	医療機械	287	3.5	0.9	1.17
繊維機械	237	63.5	0.6	繊維機械	276	37.6	0.7	繊維機械	253	44.6	0.8	0.99
農業機械	153	▲ 9.1	0.4	農業機械	142	▲ 29.4	0.4	農業機械	135	▲ 23.3	0.4	0.56
産業車両	127	33.0	0.3	産業車両	138	6.8	0.4	産業車両	103	▲ 7.1	0.3	0.44
19業種合計	35,591		97.6	19業種合計	36,273		97.3	19業種合計	30,270		96.7	0.67

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品。
軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～工作機械、産業用ロボット、繊維機械は好調維持、乗用車は大幅減～

・伸び率上位機種は、①中国、韓国・台湾、北米等向け**工作機械(54.5%増)**、②北米、中国、韓国・台湾等向け**産業用ロボット(53.4%増)**、③中国、ASEAN、韓国・台湾向け等**繊維機械(44.6%増)**、④米欧向け**TV(21.3%増)**、⑤中国、韓国・台湾、米欧向け**バルブ・コック(18.8%増)**、⑥EU、北米、中国向け等**ベアリング(16.7%増)**の6機種である。

一方、最も落込み幅が大きいのが、乗用車(67.9%減)、録画・再生機器(59.9%減)、デジカメ(54.0%減)、電子計算機(35.7%減)、ラジオ(29.7%減)、農業機械(23.3%減)などであった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/2			2011/3			2011/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	764	90.9	工作機械	928	48.4	工作機械	741	54.5
繊維機械	237	63.5	産業用ロボット	106	39.0	産業用ロボット	97	53.4
運搬機械	242	56.8	繊維機械	276	37.6	繊維機械	253	44.6
建設機械	1,256	52.2	陸用内燃機関	434	20.5	TV	93	21.3
産業用ロボット	98	51.4	ベアリング	424	18.8	バルブ・コック	396	18.8
陸用内燃機関	431	51.1	バルブ・コック	374	17.3	ベアリング	418	16.7
半導体等製造装置	1,561	35.5	半導体等製造装置	1,594	13.5			
産業車輛	127	33.0						
ベアリング	384	24.2						
分析・試験・検査機	707	21.5						
機種合計	5,807	15.9%	機種合計	4,136	11.1%	機種合計	1,998	6.4%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/2			2011/3			2011/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
携帯電話	3	▲ 51.6	農業機械	142	▲ 29.4	乗用車	2,151	▲ 67.9
船舶	1,561	▲ 26.5	録画・再生機器	13	▲ 28.9	録画・再生機器	7	▲ 59.9
エアコン	8	▲ 25.0	乗用車	5,198	▲ 27.3	デジカメ	359	▲ 54.0
発電機	95	▲ 24.3	電子計算機	489	▲ 27.2	電子計算機	394	▲ 35.7
電子計算機	424	▲ 19.4	デジカメ	560	▲ 23.2	ラジオ	9	▲ 29.7
			ラジオ	11	▲ 13.2	農業機械	135	▲ 23.3
機種合計	2,091	5.7%	機種合計	6,413	17.2%	機種合計	3,055	9.8%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～前月から一転マイナス、電算機、電子デバイスのマイナス大きく影響～

・4月の機械輸入額は4.3%減と16ヶ月ぶりにマイナスとなった。その要因は、①二大輸入機種の電子デバイス(21.1%減)、電子計算機(10.0%減)がマイナス幅を拡大させた他、民生用電子部品(24.0%減)、自動車部品、航空機、重電気機械もマイナスになったことによる。一方、乗用車(34.8%増)、携帯電話(21.1%)、白物家電(10.5%)は伸び率を縮小させたものの高い伸びを維持した。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、TV、白物家電、エアコン、医療機器、録画・再生機器、時計、ラジオとなっている。

・地域別機械輸入額は、中国(4.0%減)、北米(8.1%減)、ASEAN(10.9%減)、EU(12.2%増)、韓国・台湾(12.5%減)、その他地域(16.8%増)の順となっており、韓国・台湾の伸び率低下が目立っている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2011/2				2011/3				2011/4			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,455	▲ 6.4	12.4	電子計算機	1,770	▲ 7.3	12.8	電子計算機	1,563	▲ 10.0	12.9
電子デバイス	1,375	▲ 3.5	11.8	電子デバイス	1,425	▲ 19.9	10.3	電子デバイス	1,338	▲ 21.1	11.0
自動車部品	528	0.2	4.5	重電気機械	642	4.8	4.6	重電気機械	592	▲ 5.3	4.9
重電気機械	525	3.6	4.5	乗用車	620	32.4	4.5	乗用車	546	34.8	4.5
TV	487	38.2	4.2	TV	601	42.8	4.3	白物家電	521	10.5	4.3
医療機器	454	0.4	3.9	自動車部品	598	▲ 2.1	4.3	自動車部品	513	▲ 14.4	4.2
乗用車	444	86.9	3.8	携帯電話	592	125.1	4.3	医療機器	395	2.2	3.3
携帯電話	407	58.8	3.5	医療機器	540	▲ 9.3	3.9	TV	380	1.7	3.1
白物家電	374	2.3	3.2	白物家電	492	23.0	3.6	携帯電話	346	21.1	2.9
光学機械	328	7.2	2.8	光学機械	358	▲ 7.1	2.6	光学機械	299	2.5	2.5
航空機	317	▲ 12.0	2.7	民生用電子部品	305	▲ 16.2	2.2	民生用電子部品	268	▲ 24.0	2.2
民生用電子部品	243	▲ 25.6	2.1	航空機	93	▲ 52.6	0.7	航空機	255	▲ 15.9	2.1
12機種合計	6,694		57.3	12機種合計	7,943		57.3	12機種合計	7,016		57.8

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械